

### 3. 経営学科

経営学科には、「マネジメント」「会計情報」の2コースがあり、それぞれのコースによって専門教育科目の履修方法が異なる。学生諸君は、いずれかのコースを選択し履修規程に基づいて単位を修得しなければならない。

#### 各コースについて

##### 【マネジメントコース】

21世紀を迎え、日本の企業は様々な困難に直面し、変容を迫られていると言われる。いわゆる「日本的経営」の見直しである。このコースでは、経済学の基礎的な知識も踏まえながら、そうした企業を含むさまざまな組織の経営について多面的に学修・研究する。組織を経営するには、ヒト＝人材、カネ＝資金、モノ＝原材料や諸設備、情報など、いわゆる経営資源を必要とするが、そうした資源をいかに効率的に調達し、有効に活用するかが問われる。つまり、経営全般にわたる知識の修得が求められるのである。なお、このコースでは、経営の現場での声に耳を傾けることや調査実習なども重視される。

##### 【会計情報コース】

「会計」とは、企業（やその他の組織）の財政状態や経営成績を、外部の人々に対して明瞭な形で伝達・報告するまでの一連の手続きのことである。たとえばある企業に資金を提供しようとする人にとって、その企業の経営状態を正確に知ることは不可欠である。このコースでは、そうした情報を集約した報告資料の背景にある理論や作成方法、さらに分析方法について学修・研究する。なお、このコースでは1年次からの系統的な科目履修が求められるので注意すること（「簿記と財務報告A」は経済学部へ共通した基礎科目であるが、中でもこのコースにとっては最重要の基本科目である）。

#### カリキュラムの構成と履修方法

専門教育科目	学部共通科目	必修科目	3科目6単位	64単位	所要単位を超えて修得した単位は、自由科目36単位に算入  次頁以下の表 ★印科目の中より 所要単位を超えて修得した単位は、自由科目40単位に算入
		選択必修科目	2科目4単位 <sup>注1)</sup>		
	学科基礎科目	選択必修科目	5科目10単位		
	専門基本科目	コース別 選択必修科目	4科目8単位以上		
	学部共通科目 学科基礎科目 専門基本科目 専門応用科目 専門関連科目	自由科目	36単位 <sup>注2)</sup>		

注1) 学部共通科目のうち「基礎演習B」は入学年度の後期のみ履修できる。(次頁カリキュラム表参照。) この科目は学部必修科目に準ずる重要な科目であるため、履修を義務づけている。従って学生が履修登録をする必要はなく、全ての学生が履修登録されている。前期の「基礎演習A」の評価が「D」または「R」の場合は後期の「基礎演習B」を履修できないが、「基礎演習B」の登録は解除しない。そのため当該時限にほかの科目を履修登録することはできない上、評価は「R」となるので、「基礎演習A」は極力修得すること。

注2) 次頁以降のカリキュラム表にある「演習Ⅰ」から「サマーセミナー(演習Ⅲ)」までの演習科目は、募集期間に「演習Ⅰ」(編入生の場合は「演習Ⅱ」)に応募して合格した学生のみ受講できる。また合格した「演習Ⅰ」または「演習Ⅱ」の担当教員が開講する科目しか受講できない。教員によって開講形態は異なるが、開講する科目は年度ごとに一括して履修登録される。



	授 業 科 目	開 講	単 位	開 講 学 年				コ ー ス		備 考
				1	2	3	4	メ マ ネ ジ	情 会 報 計	
専 門 応 用 科 目	経 済 理 論 入 門	前後	2	○						→「経済理論入門」を修得済であることが望ましい →「経済理論入門」を修得済であることが望ましい →「経済統計の見方」を修得済であること
	社 会 経 済 学 入 門	前後	2	○						
	経 済 史 の 基 礎	前後	2	○						
	経 済 統 計 の 見 方	前後	2	○						
	統 計 学	前後	2		○					
	社 会 保 障 の 基 礎	前後	2	○						
	金 融 の 基 礎	前後	2		○					
	経 済 原 論	前後	2		○					
	マ ク ロ 経 済 学	前後	2		○					
	ミ ク ロ 経 済 学	前後	2		○					
	計 量 経 済 学	前後	2		○					
	現 代 日 本 経 済	前後	2		○					
	日 本 経 済 と 政 策	前後	2		○					
	ア ン ケ ー ト 調 査 入 門	前後	2	○						
	日 本 経 済 特 別 演 習	前後	2			○				
	情 報 シ ス テ ム	前後	2		○					
	演 習 I	後期	2		○					
	演 習 II	通年	4			○				
	演 習 III (4)	通年	4				○			
	演 習 III (2)	後期	2				○			
演 習 IV	後期	2				○				
サマーセミナー(演習I)	集中	2		○						
スプリングセミナー(演習I)	集中	2			○					
サマーセミナー(演習II)	集中	2			○					
スプリングセミナー(演習II)	集中	2				○				
サマーセミナー(演習III)	集中	2				○				
専 門 関 連 科 目	国 際 経 済	前後	2		○					→「世界の経済」を修得済であることが望ましい
	地 域 経 済 統 合	前後	2		○					→「世界の経済」を修得済であることが望ましい
	産 業 組 織 論	前後	2			○				
	公 共 部 門 と 財 政	前後	2		○					→「財政の基礎」を修得済であることが望ましい
	日 本 経 済 史	前後	2			○				
	近 代 日 本 経 済 史	前後	2			○				
	西 洋 経 済 史	前後	2			○				
	近 代 西 洋 経 済 史	前後	2			○				
	開 発 経 済	前後	2			○				
	雇 用 と 社 会 政 策	前後	2			○				
	労 働 経 済	前後	2			○				
	日 本 の 金 融 シ ス テ ム	前後	2		○					→「金融の基礎」を修得済であることが望ましい
	国 際 通 貨 と 国 際 金 融	前後	2		○					→「金融の基礎」を修得済であることが望ましい
	少 子 高 齢 社 会 と 社 会 保 障	前後	2			○				→「社会保障の基礎」を修得済であることが望ましい
	環 境 経 済 の 基 礎	前後	2		○					
	環 境 と 経 済	前後	2			○				
	企 業 活 動 と 環 境	前後	2			○				
	地 域 と 経 済	前後	2		○					
	地 域 と 行 財 政	前後	2		○					→「財政の基礎」を修得済であることが望ましい
	N G O ・ N P O と 社 会	前後	2			○				
	ま ち づ くり と 市 民	前後	2			○				
	国 際 協 力 と 援 助	前後	2			○				
	医 療 の 経 済	前後	2			○				
	農 業 経 済	前後	2			○				
	環 境 ・ 開 発 問 題 入 門	前後	2		○					
	環 境 ・ 開 発 問 題	前後	2		○					→テーマが異なれば複数履修可
	地 域 社 会 問 題 入 門	前後	2		○					
	地 域 社 会 問 題	前後	2		○					→テーマが異なれば複数履修可
ア メ リ カ 経 済	前後	2			○					
E U 経 済	前後	2			○					
ア ジ ア 経 済	前後	2			○					
経 済 学 史	前後	2		○						
近 代 経 済 学 の 歴 史	前後	2			○					

☆ 履修保留(8頁参照)が認められた場合に限り、「演習II・III」を4年次に同時履修することができる。

次ページに続く

授 業 科 目	開 講	単 位	開 講 学 年				コ ー ス		備 考
			1	2	3	4	メ マ ン ト ジ	情 会 報 計	
日 本 の 経 済 思 想	前後	2		○					
社 会 経 済 思 想	前後	2			○				
福 祉 社 会 と 情 報	前後	2			○				
地 方 自 治 I	前後	2			○				
地 方 自 治 II	前後	2			○				
日 本 史 概 論 I	前後	2	○						
日 本 史 概 論 II	前後	2	○						
東 洋 史 概 論 I	前後	2	○						
東 洋 史 概 論 II	前後	2	○						
西 洋 史 概 論 I	前後	2	○						
西 洋 史 概 論 II	前後	2	○						
社 会 学 A	前後	2			○				
社 会 学 B	前後	2			○				
政 治 学 概 論	前後	2			○				
国 際 法 の 基 礎	前後	2		○					
国 際 紛 争 処 理 法	前後	2			○				
国 際 政 治 A	前後	2		○					
国 際 政 治 B	前後	2		○					
憲 法	通年	4		○					
民 法 I	前後	2			○				
民 法 II	前後	2			○				
コ ン ピ ュ ー タ と 情 報 C I	前後	2		○					→ (データベース) 「コンピュータと情報A・B」を修得済であること
コ ン ピ ュ ー タ と 情 報 C II	前後	2		○					→ (ネットワークの活用) 「コンピュータと情報A・B」を修得済であること
コ ン ピ ュ ー タ と 情 報 C III	前後	2		○					→ (プレゼンテーション技法) 「コンピュータと情報A・B」を修得済であること
コ ン ピ ュ ー タ と 情 報 C IV	前後	2		○					→ (コンテンツ制作演習) 「コンピュータと情報A・B」及び「マルチメディア表現と技術」を修得済であること
コ ン ピ ュ ー タ と 情 報 D I	前後	2			○				→ (ネットワーク管理とセキュリティ) 「コンピュータと情報A・B」及び「情報通信ネットワーク」を修得済であること
マ ル チ メ デ ィ ア 表 現 と 技 術	前後	2		○					→ 「コンピュータと情報A」を修得済であること
コ ン ピ ュ ー タ と 情 報 D II	前後	2			○				→ (シミュレーション・グラフィックス) 「コンピュータと情報A・B」及び「情報処理の基礎」を修得済であること
プ ロ グ ラ ミ ン グ 技 法	前後	2			○				→ 「コンピュータと情報A・B」及び「情報処理の基礎」を修得済であること
プ ロ グ ラ ミ ン グ 演 習	前後	2			○				→ 「コンピュータと情報A・B」と「情報処理の基礎」及び「プログラミング技法」を修得済であること
情 報 通 信 ネットワーク	前後	2		○					→ 「コンピュータと情報A」を修得済であること
情 報 社 会 と 職 業	前後	2			○				
情 報 処 理 の 基 礎	前後	2		○					→ 「コンピュータと情報A」を修得済であること
情 報 倫 理 と セ キ ュ リ テ ィ	前後	2			○				
法 情 報 学	前後	2			○				
情 報 メ デ ィ ア 問 題 入 門	前後	2		○					
情 報 メ デ ィ ア 問 題 演 習	前後	2		○					→ 「情報メディア問題入門」を修得済であること
フ ィ ー ル ド ワ ー ク 入 門 ( 環 境 ・ 開 発 ) 3	前後	2		○					
フ ィ ー ル ド ワ ー ク ( 環 境 ・ 開 発 ) 4	通年	4			○				→ 「フィールドワーク入門 (環境・開発)」を修得済であること
フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ 入 門 ( 環 境 ・ 開 発 ) 3	前後	2		○					
フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ ( 環 境 ・ 開 発 ) 4	通年	6			○				→ 「フィールドスタディ入門 (環境・開発)」を修得済であること
フ ィ ー ル ド ワ ー ク 入 門 ( 地 域 社 会 ) 5	前後	2		○					
フ ィ ー ル ド ワ ー ク ( 地 域 社 会 ) 6	通年	4			○				→ 「フィールドワーク入門 (地域社会)」もしくは「フィールドワーク (企業)」を修得済であること
フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ 入 門 ( 地 域 社 会 ) 5	前後	2		○					
フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ ( 地 域 社 会 ) 6	通年	6			○				→ 「フィールドスタディ入門 (地域社会)」を修得済であること
金 融 シ ス テ ム 特 別 演 習	前後	2			○				
国 際 経 済 特 別 演 習	前後	2			○				
経 済 学 特 論	前後	2	○						→ テーマが異なれば複数履修可
ネ ッ ト ワ ー ク 型 組 織	前後	2			○				
消 費 者 主 権 の 経 済 学	前後	2		○					
消 費 情 報 教 育	前後	2			○				
経 済 英 語	前後	2		○					→ テーマが異なれば複数履修可
専 門 資 格 取 得 指 導	前後	2		○					→ テーマが異なれば複数履修可
職 業 指 導	通年	4			○				

専門関連科目

- 3) フィールドワーク入門 (環境・開発) とフィールドスタディ入門 (環境・開発) は毎年いずれかが開講される。  
4) フィールドワーク (環境・開発) とフィールドスタディ (環境・開発) は毎年いずれかが開講される。  
5) フィールドワーク入門 (地域社会) とフィールドスタディ入門 (地域社会) は毎年いずれかが開講される。  
6) フィールドワーク (地域社会) とフィールドスタディ (地域社会) は毎年いずれかが開講される。  
○で示す開講学年で履修することが望ましい。ただし、履修学年に制限がない限り、当該学年以降でも履修することができる。